

EFC OPEN CAMPUS 2015

世界フェアトレード・デー



同時開催!

ファッション × エシカルの学校、今年も開校!
2015.05.09(SAT)–05.10(SUN) 10:00–18:00

場所: IID 世田谷ものづくり学校 (世田谷・三軒茶屋) 入場無料・雨天決行



昨年一日で1000人を動員したエシカルファッションカレッジ(以下EFC)を、今年も開催します。

今年は5月9日の世界フェアトレードデー、5月10日のコットンの日を記念して2日間に拡大!見て感じる映画や、ファッションショー、エシカルショッピングスペース、実際に触れて体験するワークショップやエシカルな(倫理的な)活動をされている先生方をお迎えしての講義など、「エシカル」が一同に集まるイベントです。

ここでしか見れない限定コラボイベントも開催します。ぜひ、あなたのエシカルをみつけに来てください。



? WHAT'S EFC?

「Ethical Fashion College」は、「エシカルファッション」を切り口に、「知る」「作る」「感じる」ことで、楽しみながら気づき、学ぶ、2日限りの学校です。



エシカルファッションとは?

洋服をはじめとしたファッションアイテムはさまざまな国で生まれ、さまざまな過程を経てわたしたちの手元に届きます。でも、もしその過程で、不当な労働でつらい思いをする人がいたり、地球環境に負荷がかかっているとしたら? 「エシカルファッション」とは、そういった、製造や流通にかかわる多くの問題に対してアプローチするために生まれたファッションのこと。フェアトレード、オーガニック、サステナブル...そんな言葉をすべて包み込むのが「エシカル」なのです。

2015年テーマ エシカル、持ちかえる。

2日間と開催日も増えた事で、今年の体験できるコンテンツ数は全部で60以上。参加企業も50社を越えています。

今年のテーマは「エシカル持ち帰る」。2015年度、ファッション=衣類にとどまらず、食や暮らし、伝統文化を含む、ライフスタイルのひとつとして、エシカルを発信します。会場にちりばめられた、エシカルな要素を目にして、聞いて、体験してぜひ、あなたのエシカルを持ち帰ってください。今年は昨年に比べて、購買部がより充実しました。ファッションショーで見た商品がその場で売っていたり、いつもはバラバラな場所で売っている商品が一同に並びます。エシカルマルシェで素敵なお買い物をお楽しみください。

エシカルファッションカレッジ <http://efc.lee-japan.jp/>
日時: 2015年5月9日(土) 5月10日(日) 10:00~18:00
場所: IID 世田谷ものづくり学校 (東京都世田谷区池尻2-4-5)



エシカル 持ちかえる



フェアトレード、オーガニック、アップサイクル エシカルファッションショー！

今年もエシカルな洋服を集めたファッションショーを実施します。ショーはエシカルな3テーマで構成されます。1部は5月9日の世界フェアトレードデーに因み、「フェアトレードファッションショー」を開催。2部はコットンの日に因み、「エシカルコットン」をテーマにスタイリングをします。最後に、今回特別にロンドンより、捨てられるはずだった素材で作品をつくるkumi taniさんをお迎えして3部目に「アップサイクルファッションショー」も開催します。「捨て方をデザインする」ナカダイ様からご提供いただいた廃棄エアバックを使った作品を今回のために、特別製作し発表します。



2014年 ファッションショーの様子



2014年 シンポジウムの様子

EFC 限定 異色コラボによる、 トークイベント！

シンポジウム会場では、EFC でしかみられない、人物や企業とのコラボイベントを実施予定です。他では聞けない、エシカルの本音や本質を異色のコラボメンバーと討論します。

また参加者自身が発言し意見を交わす対話型ワークショップも充実。企業のCSR担当者と生活者が、「日常」をテーマにエシカルアクションを考えていく、「あれもエシカル？これもエシカル？(仮)」や、「サステナブルな生き方、働き方ってなんだろう？(仮)」と題し、生き方や働き方を通じて、「私のエシカル」を考えるワークショップを実施します。

EFC 実行委員



リー・ジャパン株式会社は、1889年アメリカ・カンザス州で創設。日本では1987年にLee Japanとしてライセンスを取得した高品質と普遍的なデザインが人気のジーンズブランド。環境と人々にやさしい洗い加工の開発や、Born in UGANDA、東北コットンプロジェクト等の活動を積極的に行っている。



生駒芳子 ファッションジャーナリスト。『VOGUE』『ELLE』を経て、『marie claire』の編集長を務める。2008年に退任後、その経験を生かして、ラグジュアリー・ファッションからエコライフ、社会貢献まで広い視野でトピックを追い、発信する。



ピープル・ツリーは、フェアトレード専門ブランド。フェアトレードファッションの世界的パイオニア。手仕事を活かした自社企画商品で、途上国の経済的・社会的に立場の弱い人びとに収入の機会を継続的に提供している。



オーガビッツは豊島(株)が推進するオーガニックコットン普及プロジェクト。混率100%にこだわらず10%の商品を100倍の人に届けると「逆転の発想」で多くのブランドと様々なアイテムを生産している。



株式会社スペースポートは、ソーシャルクリエイティブをテーマに2000年に設立。コンテンツの企画・制作、プロジェクトのプロデュース、ワークショップ、人材育成などを通じて企業やNPOのソーシャル・ブランディングを行っている。主な仕事にThink the Earthのプロデュースやトヨタ AQUA SOCIAL FES!! など。



ー児童労働のない未来へー

認定NPO法人ACE(エース)は、世界の子どもを児童労働から守る国際協力団体。インドとガーナで子どもを支援し、日本で児童労働の問題を伝える。児童労働者が多いインドのコットン生産地では、子どもの就学支援や自立支援のための職業訓練、貧困家庭の収入向上支援などを行う。



グローバルビレッジは、フェアトレードの専門ブランド「ピープル・ツリー」の母体NGO。環境問題や貧困問題に関する情報を発信するため、1991年に設立。現在はフェアトレードの普及、労働環境向上や設備投資、学校の運営支援などの活動を推進。



EFJ(ETHICAL FASHION JAPAN)は、日本発信のエシカルファッション推進団体。これからのエシカルは「当たり前」。そのあたり前を確立するために国内外のブランドのPR・情報発信などを等サイト内・外で行っている。



Over the Rainbowは、「持ち主だった人の物語付き」のヴィンテージアイテムの販売など、様々な社会問題解決型のファッションビジネスを通じて「エシカルは特別な選択肢ではなく、問題解決には個人の身近なところでの行動が不可欠である事」を伝える。



一般社団法人Think the Earthは、クリエイティブの力で社会問題への無関心を減らし、多くの人が地球のことを考え、行動するきっかけを作り続けているNPO。WEBで情報発信をする他、映像、アプリ制作、イベントなど多様なプロジェクトを展開している。最新作は書籍『続・百年の悪行』。

開催の背景：
 始まりはリー・ジャパン(株)と特定非営利活動法人ACEが「BORN IN UGANDA ORGANIC COTTON PROJECT」の商品の原材料となるウガンダのオーガニックコットンの生産現場で人権や労働に関わる国際基準が守られているかを確認するCSRレビューを実施したことをきっかけに、エシカルコットンサミット(旧名称:コットンCSRサミット)と題し2011年よりアパレル企業や関係者に向けたシンポジウムを開催してきました。2014年よりエシカルファッションをより広げようと、コンテンツを大幅に拡充し、様々な企業の参加を得て、丸1日、多彩なプログラムを一般消費者向けに提供することになりました。
 2013年 エシカルコットンサミット <http://acejapan.org/info/2013/05/9603/> 2012年 コットンCSRサミット <https://acejapan.org/info/2012/06/2027/> 2011年 コットンCSRサミット <https://acejapan.org/info/2011/05/2019/>

本ニュースリリースや取材の申し込みに関するお問い合わせは：

事務局 特定非営利活動法人ACE (担当:岩附/召田) 電話:03-3835-7555 ファックス:03-3835-7601 メール:efc@acejapan.org